

さわやかだより

子宮がん・乳がん検診を 受診しましょう

一般には高齢者が多いとされるがんですが、子宮がんは30～50歳代、乳がんは40～60歳が多く、最近はやや若い世代（15～30歳前後）の若い人のがんも増えています。がんは早期に、小さい段階で発見することがポイントです。そのためには、年齢に応じた検査を定期的に受けることをお勧めします。乳がん、子宮がんの検診は、2年に1度の受診が推奨されています。平成29年度に受診された人は、今回の検診が対象ですので、忘れずに受診してください。

子宮がん検診方法

■子宮頸がん

子宮の入り口である「子宮頸部」にできるがんです。HPV（ヒトパピローマウイルス）という、ごくありふれたウイルスへの感染が原因で感染自体は珍しいものではなく女性の生涯感染率は80%といわれています。大半は感染から2年以内に自然消失しますが、ごく一部の感染が持続し子宮頸がんになります。初期では症状がほとんどありませんが、検診によりがんの一手手前の状態で見つけることが可能なため、早期発見・治療ができます。

■検診方法

- ①頸部細胞診：子宮頸部の細胞を綿棒などでこすって採取して調べます。痛みはほとんどありません。
- ②超音波検査：膣の中に機械を入れて内側から超音波をあてる検査です。痛みはほとんどありません。内膜症などの病気の発見につながるため、若い人には1度受診をお勧めします。

■子宮体がん

子宮の奥にある「子宮体部」にできるがんです。子宮頸がんとは原因が異なり、エストロゲンという女性ホルモンが過剰に分泌されることが原因です。初経年齢が早い、閉経年齢が遅い、妊娠・出産経験がないなど、エストロゲン分泌期間が長い場合に、子宮体がんになりやすいと考えられており、中高年以上で発症率が高くなっています。半年以上、生理以外の出血がある方は1度受診をお勧めします。

■検診方法

子宮の奥（内膜）の細胞を採取して調べます。子宮口から器具を挿入するため、多少の痛みと出血を伴う検査です。

乳がん検診方法

乳房にある乳腺に発生するがんです。日本人の女性の14人に1人がかかるとされており、特に肥満、アルコール摂取は乳がんの発症リスクを高めると言われています。

乳がんは唯一「自分で触って発見できるがん」と言われます。乳房の上部わき側にできることが多く、しこりは硬く、あまり動かないのが特徴です。

また、今回の集団検診から、40歳代を対象に乳がんの超音波検査を開始します。

■検診方法

- ①マンモグラフィ…乳房専用のレントゲン検査です。指ではわかりにくい小さなしこりなども発見できます。乳房を圧迫して撮影するため、痛みを感じる人もいます（特に生理前など）
- ②超音波検査…乳房に超音波をあてる検査です。痛みはほとんどありません。乳腺が発達している若い世代では、マンモグラフィだけでは小さなしこりも発見しにくいいため、あわせて受診することをお勧めします。

子宮がん・乳がん検診（集団）のお知らせ

■日 時 ①1月23日（木）8時30分～14時20分
②1月24日（金）8時30分～10時20分

■場 所 ①健康福祉センターさわやか②洞爺ふれ愛センター

■対 象 子宮がん検診：20歳以上の住民（女性のみ）
乳がん検診：40歳以上の住民（女性のみ）

■検診内容 子宮がん検診：問診、頸部細胞診検査（希望者のみ頸部超音波検査）
乳がん検診：問診、マンモグラフィ検査問診（40歳代の希望者のみ超音波検査）

■料 金 子宮がん検診1,500円（超音波検査追加は+500円）
乳がん検診2,000円（超音波検査追加は+2,000円）※40歳代のみ追加可

※洞爺湖町国民健康保険加入者は無料で受診できます。また令和元年7月に無料クーポン券が送付されている人はクーポン券を使用することで無料で受診できます。（両検診とも超音波検査は無料対象外）

■申込み 事前予約が必要です。1月17日（金）までに健康福祉センターさわやかへ申し込みください。

問合せ 健康福祉センターさわやか（☎76-4006）